



マルハニチロ株式会社

2016年3月期連結決算

代表取締役社長 伊藤 滋

2016年5月17日

A decorative graphic at the bottom of the page features overlapping, wavy shapes in various shades of orange and red, creating a layered, abstract effect.

目次

1. 事業環境

2. 連結損益計算書

3. 中期経営計画の進捗状況

4. 年間計画

1. 事業環境

日本経済

- 企業収益・雇用環境は改善傾向。景気は緩やかな回復基調
- 世界経済の下振れリスク等による不透明感の継続

水産・食品業界

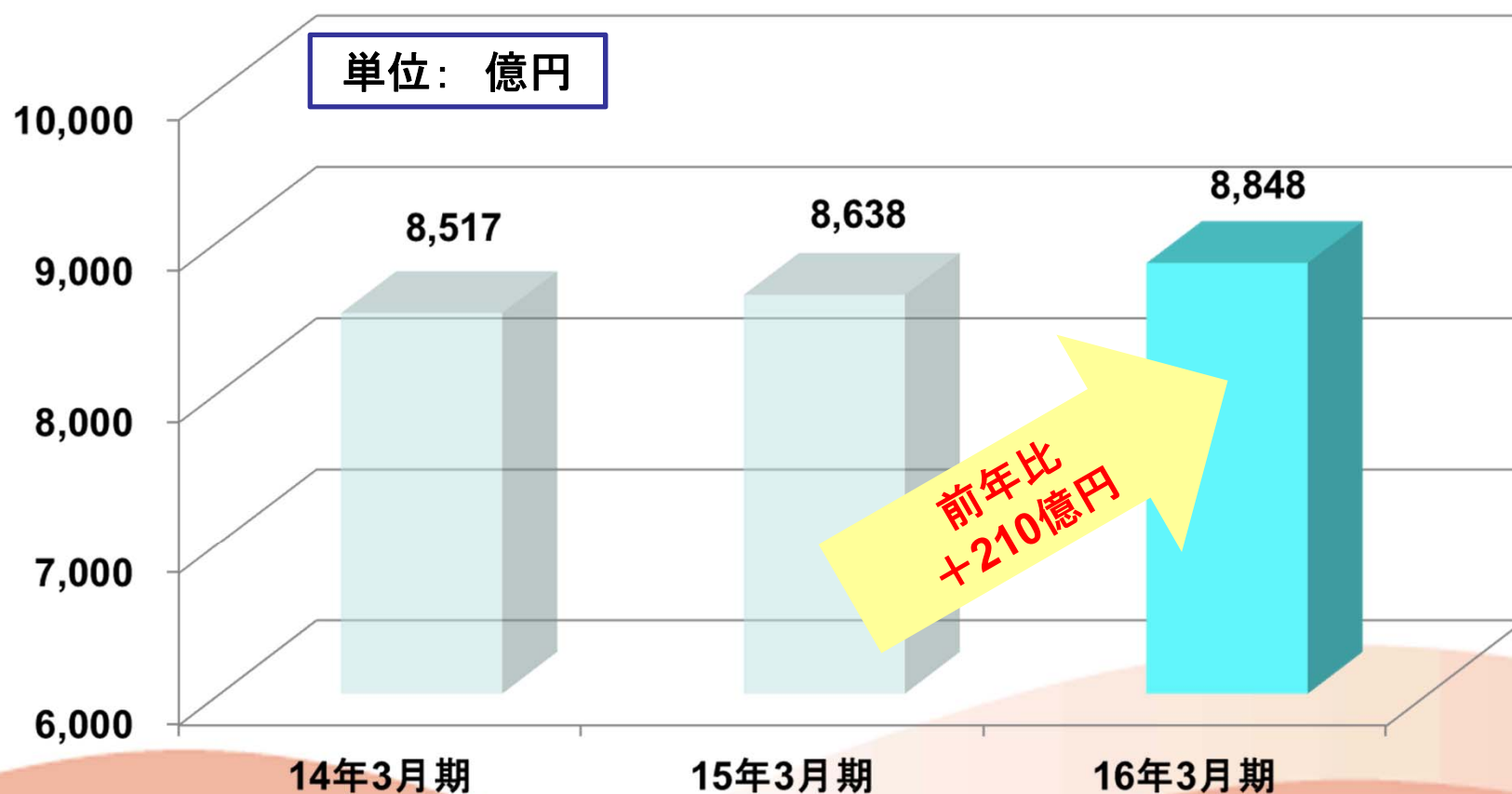
- 原材料価格高止まりや人材不足の懸念は継続
- 個人消費は節約志向に加え、選別消費の傾向

マルハニチログループ

- 中期4ヵ年経営計画「Challenge toward 2017」の2年目
- 引き続き事業基盤の回復に注力
- 「完全養殖マグロ事業の拡大」、「グローバル領域における収益拡大」及び「機能性表示食品の発売」による「成長路線の遂行」

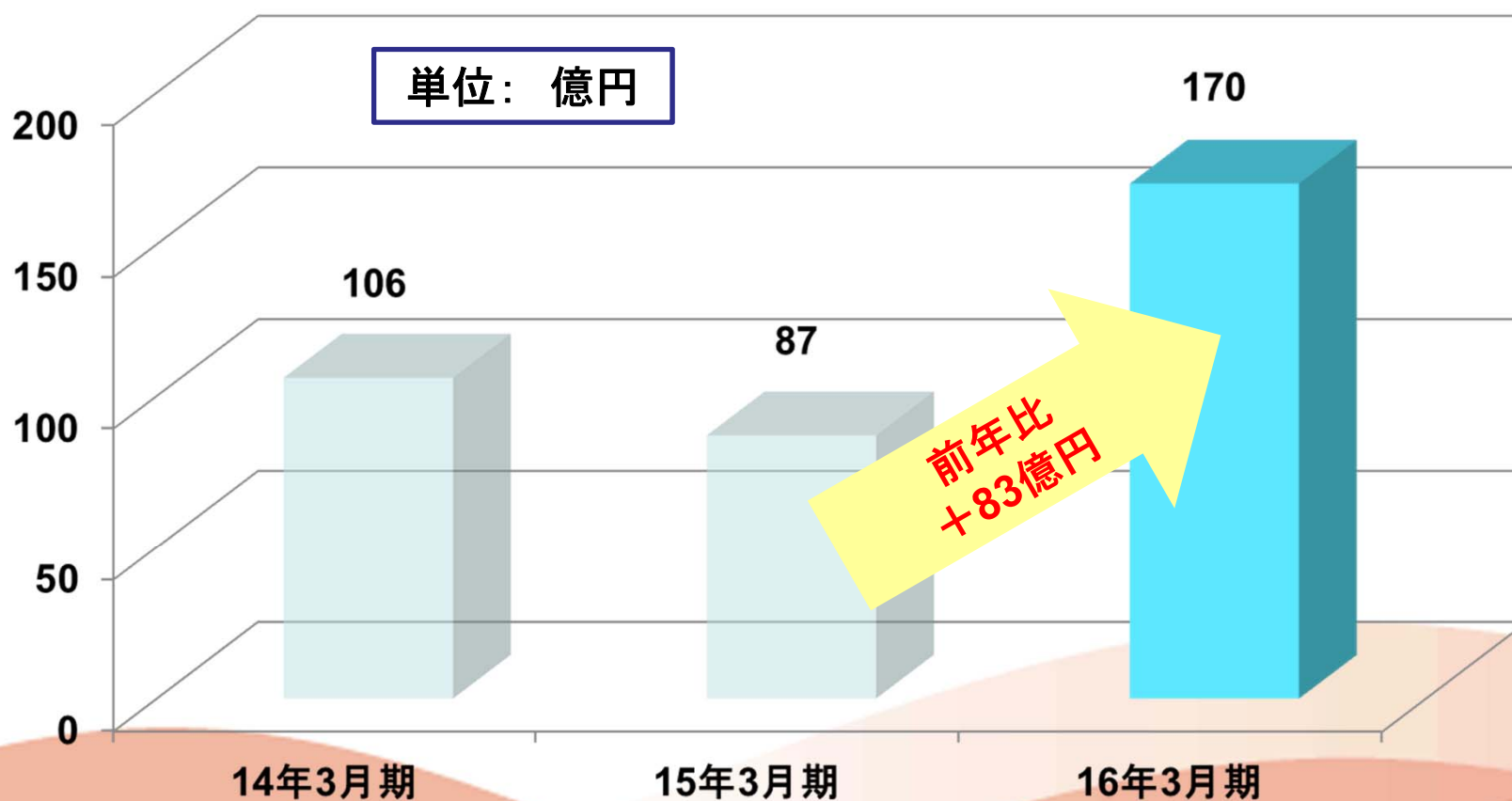
2. 連結損益計算書(売上高)

売上高



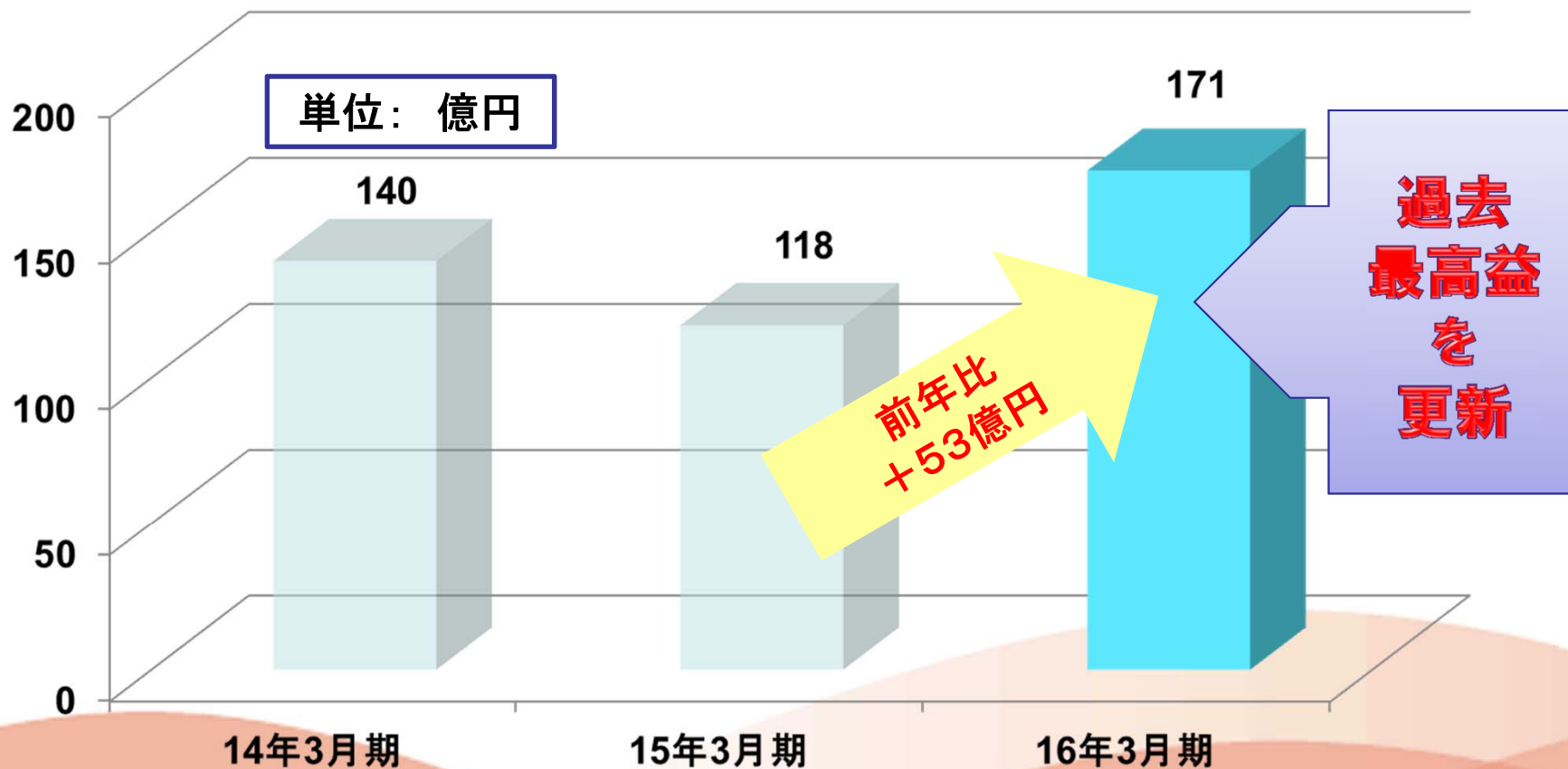
2. 連結損益計算書(営業利益)

営業利益



2. 連結損益計算書(経常利益)

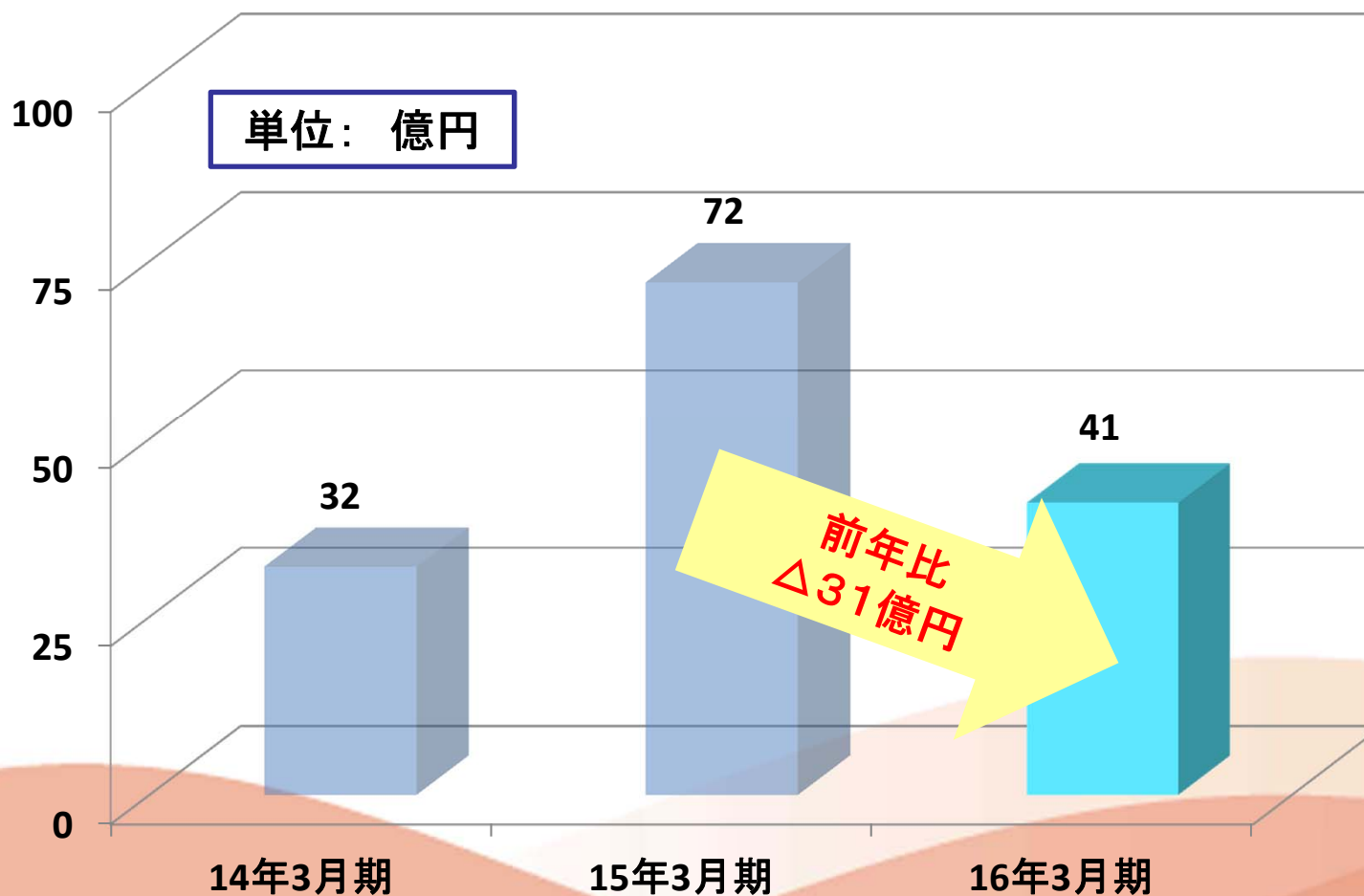
経常利益



2. 連結損益計算書 (親会社株主に帰属する当期純利益)



親会社株主に帰属する当期純利益



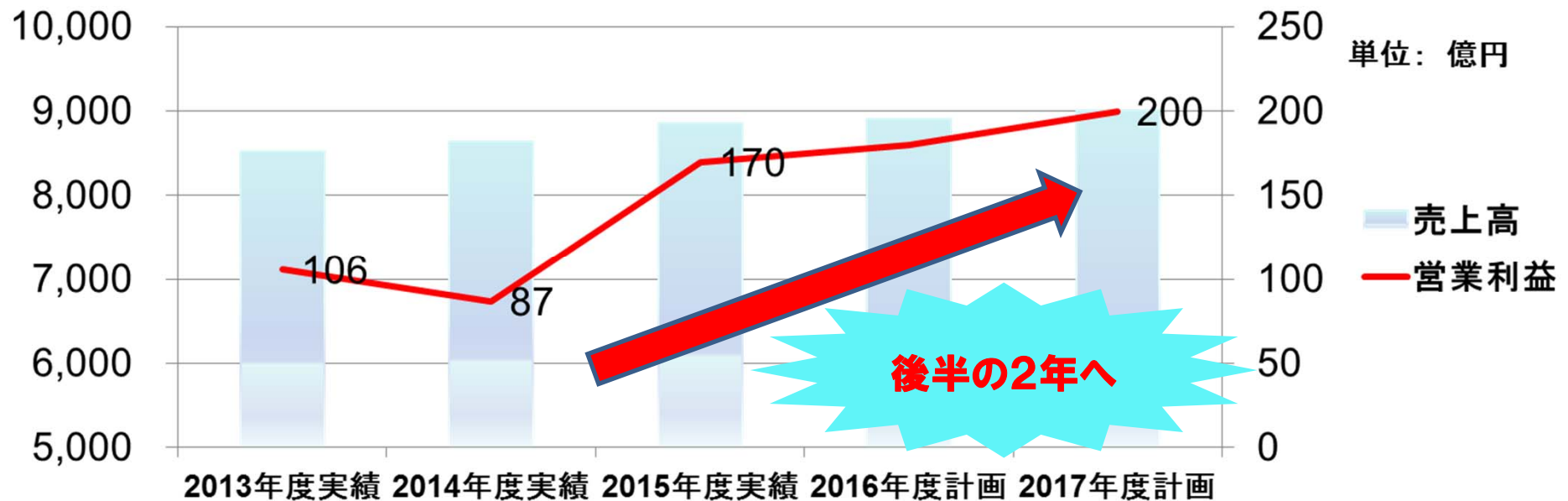
2. 連結損益計算書(概要)

(単位:億円)

	16年3月期	15年3月期	増減
売上高	8,848	8,638	210
売上原価	7,682	7,564	118
売上総利益	1,166	1,074	92
販売費・一般管理費	996	987	9
営業利益	170	87	83
営業外収益	48	76	△ 28
営業外費用	47	45	2
経常利益	171	118	53
特別利益	22	32	△ 10
特別損失	69	34	35
税金等調整前当期純利益	124	117	8
法人税等	57	23	34
非支配株主に帰属する当期純利益	27	22	5
親会社株主に帰属する当期純利益	41	72	△ 31

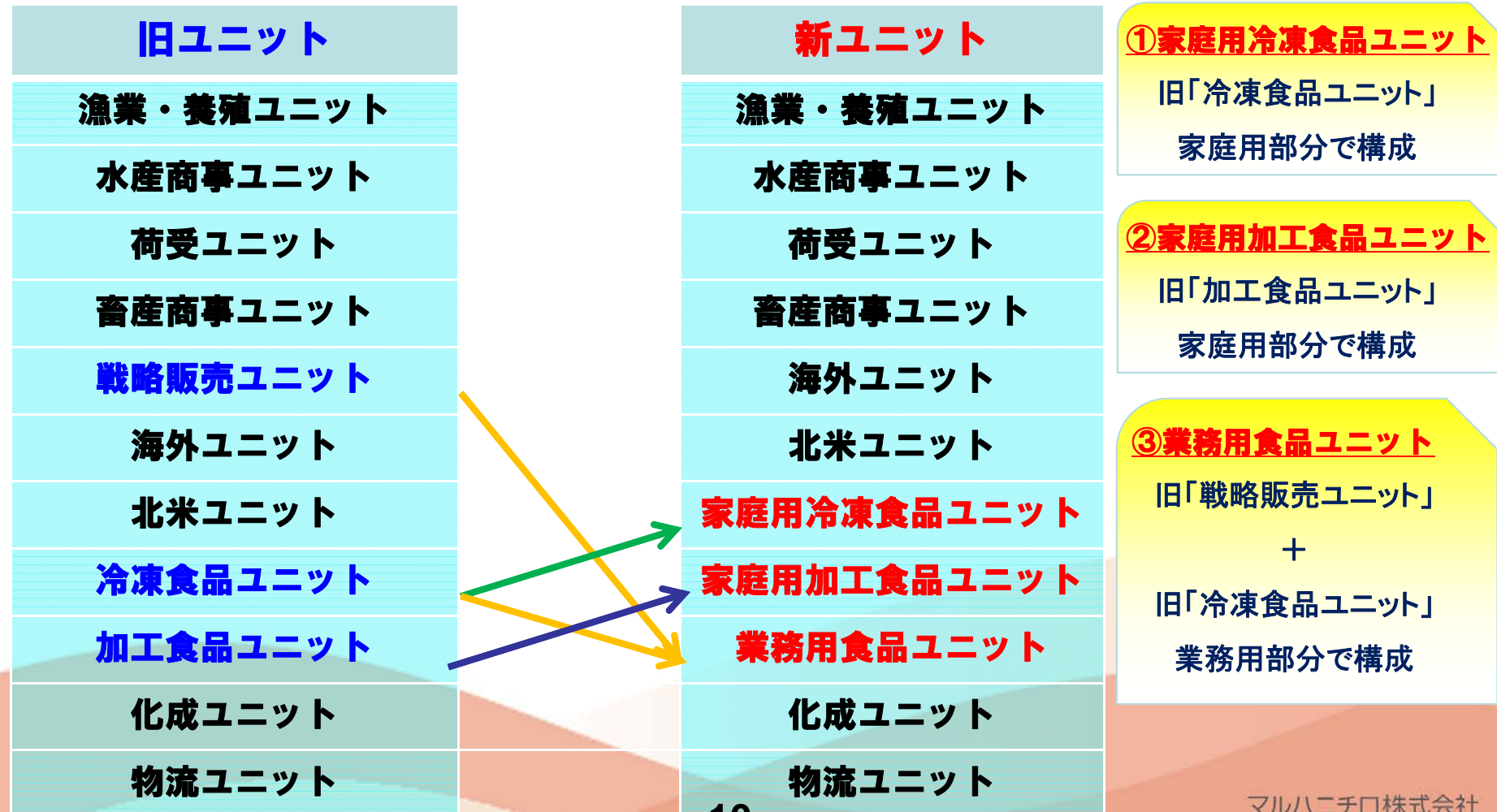
3. 中期経営計画の進捗状況①

**中期4カ年経営計画「Challenge toward 2017」の2年目はV字回復
本年度からは3年目「成長への挑戦」の期間へ**



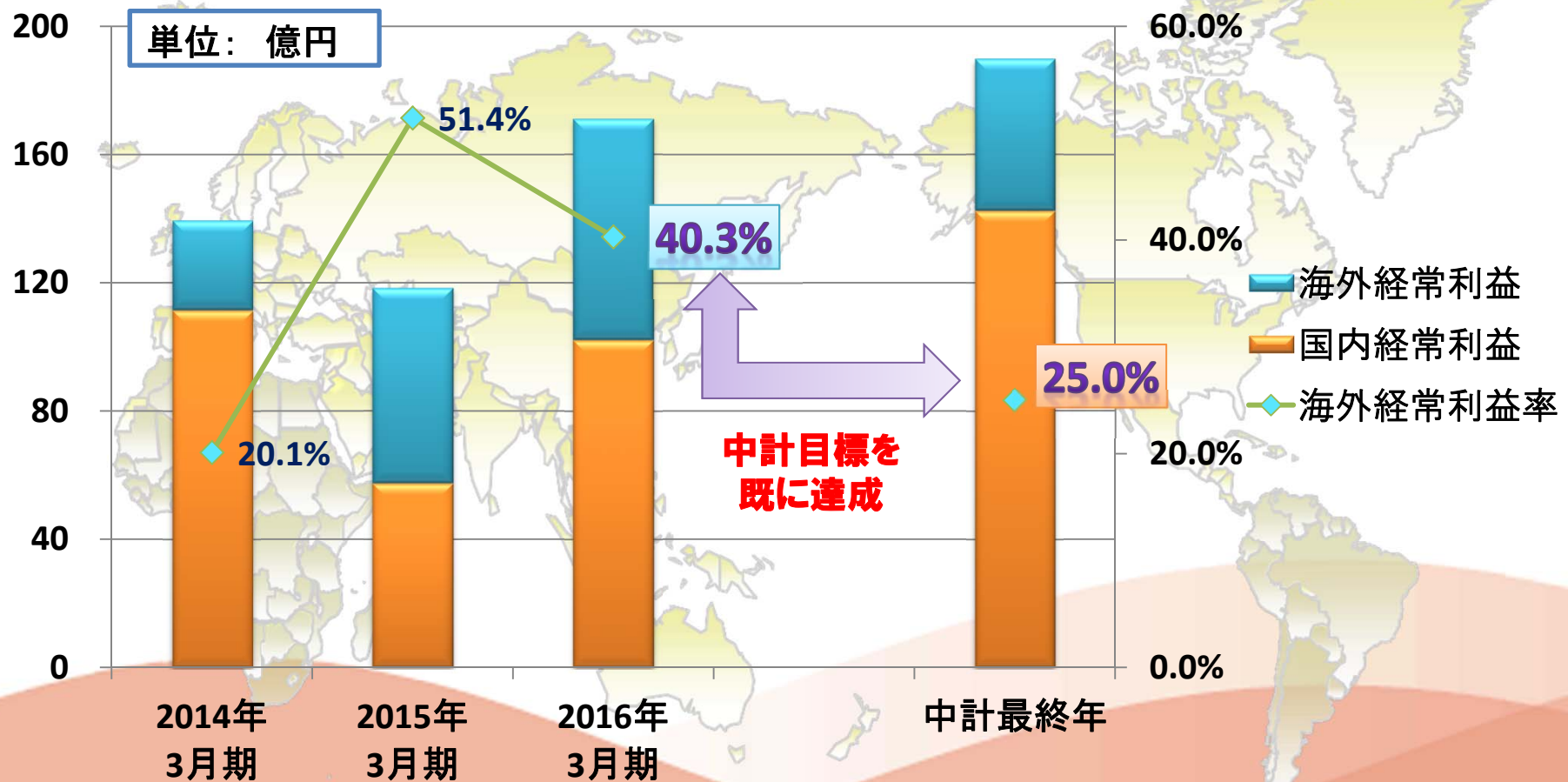
3. 中期経営計画の進捗状況②

2016年4月より、顧客との接点の一元化を目的に
ユニットを一部変更致しました。



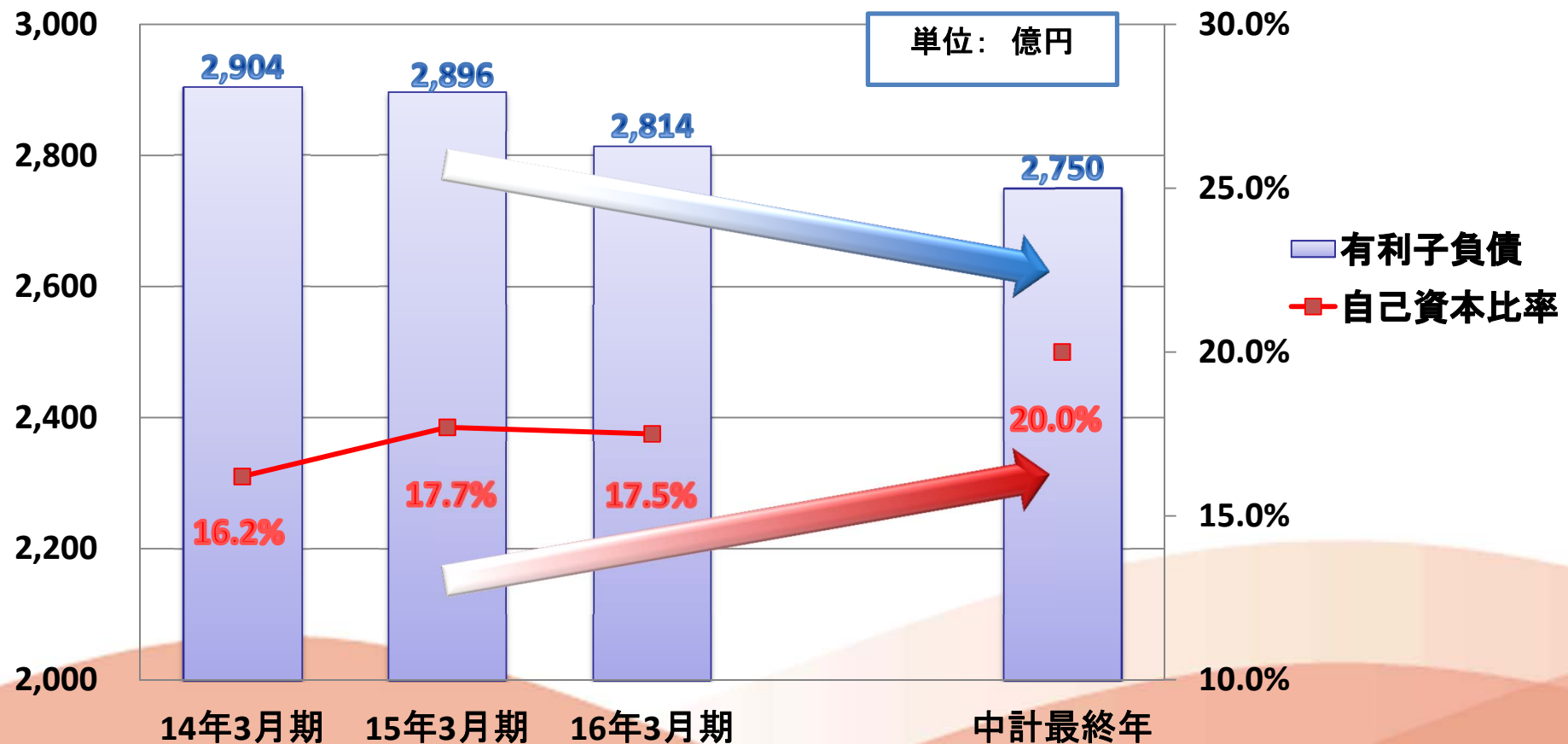
3. 中期経営計画の進捗状況③

海外法人の経常利益の状況 2016年3月期は40.3%で既に中計目標を達成



3. 中期経営計画の進捗状況④

- ・2016年3月期の有利子負債は**2,814億円**(中期計画2年間で△90億円)
- ・自己資本比率は**17.5%**(中計計画2年間で+1.3ポイント)



4. 年間計画①（全体）

中期経営計画3年目、「成長への挑戦」元年として
【売上高8,900億円】【営業利益180億円】を計画

単位： 億円	17年3月期 計画	16年3月期 実績	増減	前年比	2017年 中期計画
売上高	8,900	8,848	52	0.6%	9,000
営業利益	180	170	10	6.1%	200
経常利益	180	171	9	5.1%	190
親会社株主に 帰属する 当期純利益	90	41	49	119.7%	—

4. 年間計画② (ユニット別計画)



単位: 億円

	売 上 高			営 業 利 益		
	17年3月期計画	16年3月期実績	増減	17年3月期計画	16年3月期実績	増減
漁業・養殖ユニット	362	377	△ 15	18	16	1
水産商事ユニット	716	743	△ 27	23	19	5
荷受ユニット	2,520	2,511	9	10	12	△ 2
畜産商事ユニット	540	480	61	5	5	0
海外ユニット	512	526	△ 14	45	53	△ 8
北米ユニット	993	1,050	△ 57	25	24	2
家庭用冷凍食品ユニット	582	572	10	7	3	4
家庭用加工食品ユニット	504	478	26	1	△ 13	14
業務用食品ユニット	1,820	1,774	46	18	15	4
化成ユニット	56	49	6	7	7	△ 0
物流ユニット	159	156	3	18	18	0
その他	137	131	5	3	5	△ 2
全社	-	-	-	△ 0	7	△ 7
合 計	8,900	8,848	52	180	170	10

4. 年間計画② (ユニット別計画)

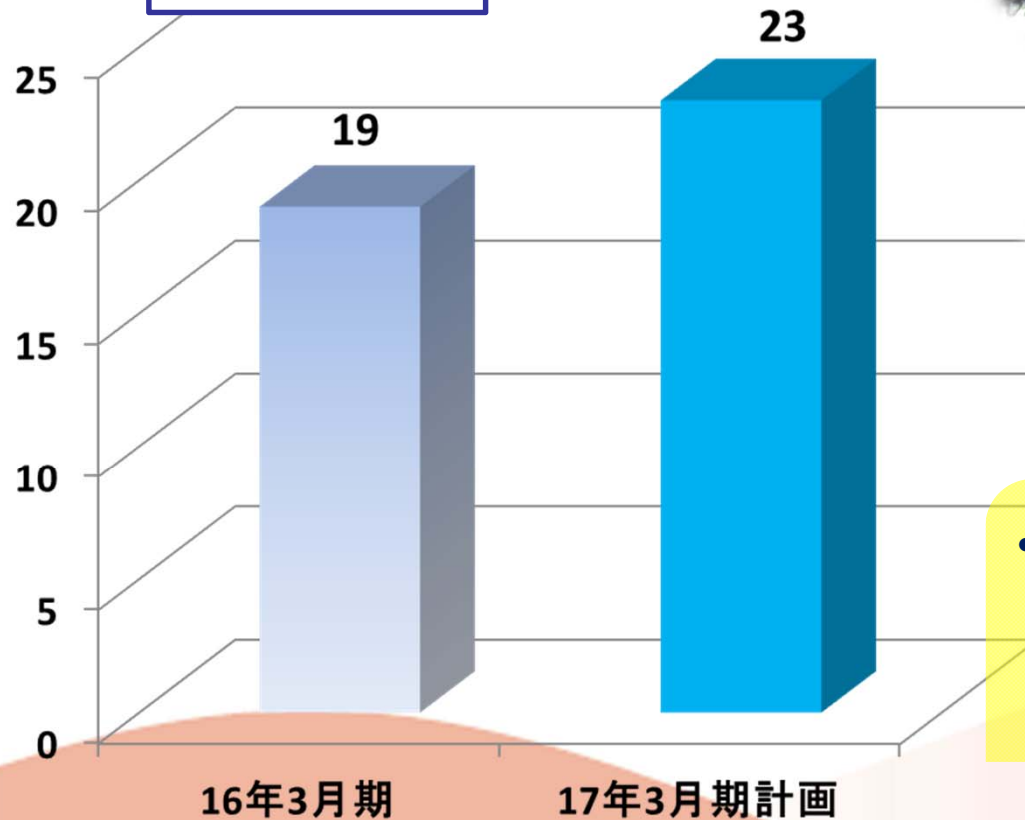
単位：億円

	売 上 高			営 業 利 益		
	17年3月期計画	16年3月期実績	増減	17年3月期計画	16年3月期実績	増減
漁業・養殖ユニット	362	377	△ 15	18	16	1
水産商事ユニット	716	743	△ 27	23	19	5
荷受ユニット	2,520	2,511	9	10	12	△ 2
畜産商事ユニット	540	480	61	5	5	0
海外ユニット	512	526	△ 14	45	53	△ 8
北米ユニット	993	1,050	△ 57	25	24	2
家庭用冷凍食品ユニット	582	572	10	7	3	4
家庭用加工食品ユニット	504	478	26	1	△ 13	14
業務用食品ユニット	1,820	1,774	46	18	15	4
化成ユニット	56	49	6	7	7	△ 0
物流ユニット	159	156	3	18	18	0
その他	137	131	5	3	5	△ 2
全社	-	-	-	△ 0	7	△ 7
合 計	8,900	8,848	52	180	170	10

4. 年間計画③（水産商事ユニット）

営業利益

単位：億円

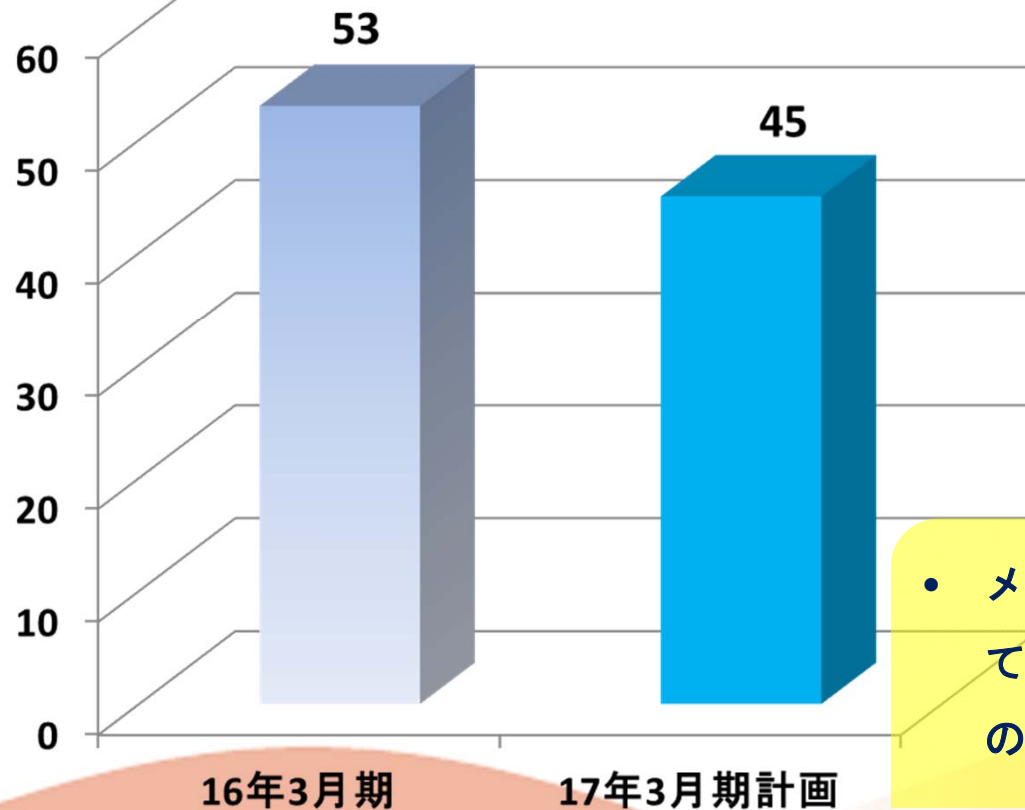


- 水産物の世界的需要による競争激化も、当社の調達力を武器に、引き続き高い水準での安定利益の確保

4. 年間計画④（海外ユニット）

営業利益

単位： 億円

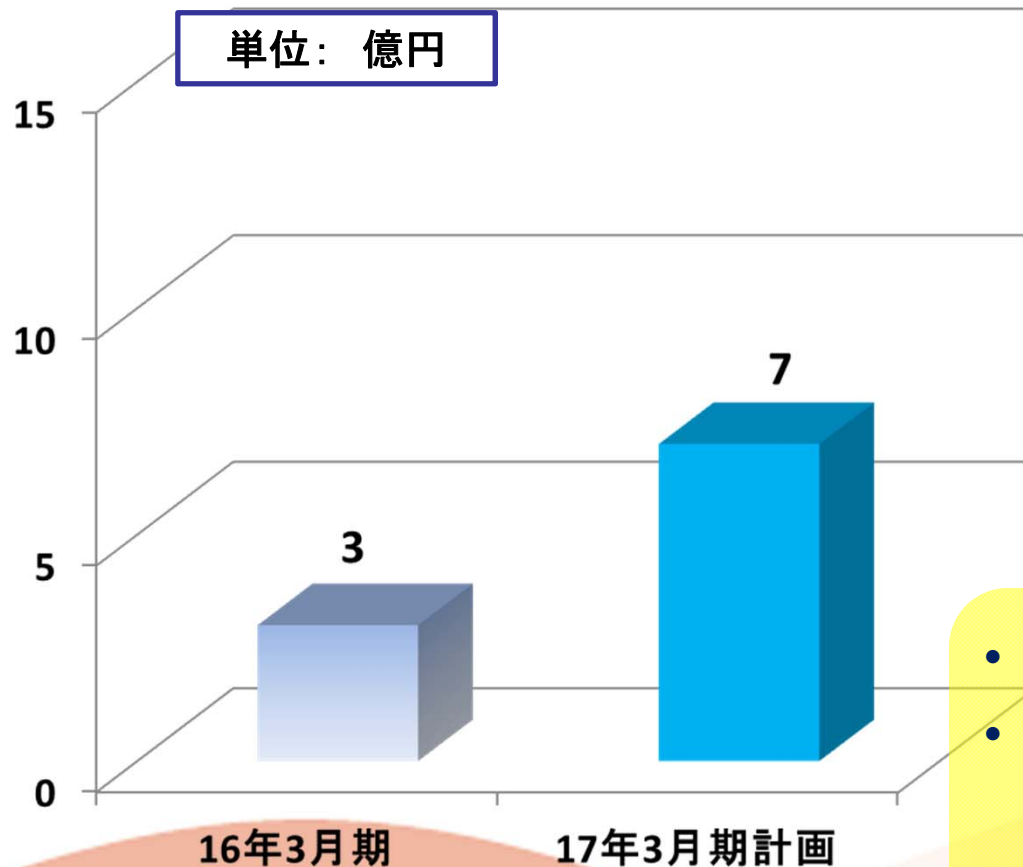


- メロ漁獲枠2割減、エビ事業平年並みとして減益予想だが、引き続き当社11ユニットの中で高い水準での営業利益を獲得

4. 年間計画⑤ (家庭用冷凍食品ユニット)



営業利益

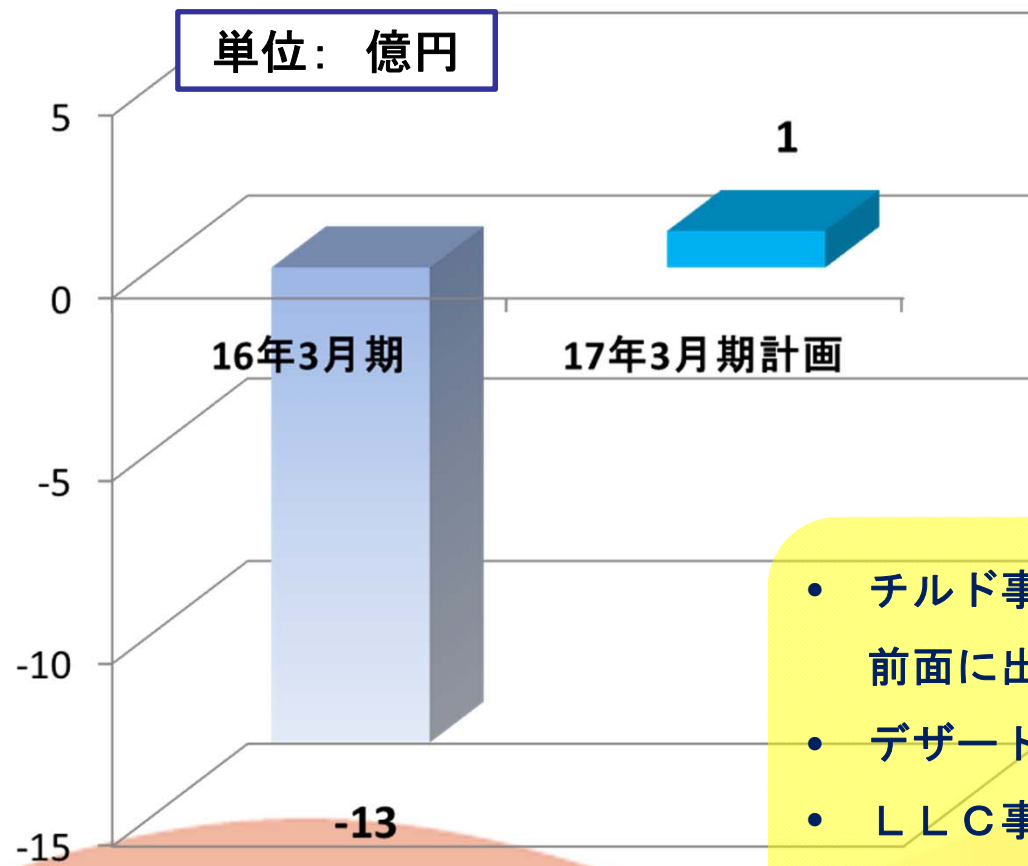


- アクリ事業の回復が最優先
- アクリブランドが得意とするピザ、グラタン、コロッケを中心に商品開発力と収益力を強化

4. 年間計画⑥ (家庭用加工食品ユニット)



営業利益



- チルド事業は生産効率UPと、機能性表示食品を前面に出した商品力強化
 - デザート事業は商品構成の見直しと生産効率化
 - LLC事業は商品力強化とマーケットの構築
- ⇒各事業2年間で抜本的な改善

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します